

● 平成30年度に実施した自校の学力調査結果 (単位:%)

平成30年9月26日
墨田区立両国小学校

教科	観 点	墨田区学習状況調査										全国学力・学習状況調査	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		6年A	6年B
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	73.8	85.5 77.0	68.1	68.7 68.6	66.9	82.9 66.8	61.9	66.8 62.3	66.9	74.7 69.5	38.7 33.2	
	話す・聞く能力	68.0	79.8 71.3	77.1	79.5 80.8	67.0	81.2 67.0	60.0	63.8 60.3	64.4	71.6 64.3	96.0 90.8	74.7 64.6
	書く能力	76.9	88.9 79.4	59.5	59.5 58.0	62.7	78.8 62.6	56.0	64.1 57.4	64.1	72.0 68.5	88.0 73.8	52.0 45.6
	読む能力	66.1	76.1 69.0	63.6	69.7 63.8	65.0	81.2 64.5	71.6	81.1 74.9	69.4	79.2 74.0	85.3 74.0	56.0 50.8
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	95.3 94.6	81.4	82.4 84.3	71.0	80.2 73.8	70.4	79.8 76.4	64.4	73.1 69.0	77.0 67.0	
社会	社会的現象への 関心・意欲・態度					58.9	69.2 59.0	60.6	68.0 64.1	59.0	65.8 61.4		
	社会的な 思考・判断・表現					62.4	73.2 62.4	56.9	63.1 59.1	60.7	66.8 62.7		
	観察・資料活用 の技能					68.9	77.9 68.5	60.5	65.4 60.1	64.5	65.5 64.0		
	社会的現象について の知識・理解					68.8	72.9 68.5	63.2	67.2 62.9	63.6	64.1 63.1		
算数	算数への 関心・意欲・態度	71.1	79.8 70.4	61.0	65.2 63.3	72.5	78.0 71.4	57.5	55.5 51.0	40.0	29.6 32.2		
	数学的な考え方	68.4	77.6 67.8	67.2	67.5 65.5	64.4	74.1 66.5	61.1	63.1 57.5	56.8	54.1 53.0		58.1 49.2
	数量や図形に ついての技能	81.0	90.3 85.0	79.3	80.4 80.5	77.6	85.2 79.8	68.6	65.9 66.1	68.2	69.2 69.9	67.5 63.0	
	数量や図形について の知識・理解	83.2	90.3 84.7	71.1	72.4 70.8	74.7	81.7 74.7	66.9	65.1 64.4	71.3	72.0 72.7	67.4 63.8	73.3 71.7
理科	自然現象への 関心・意欲・態度					76.3	87.2 81.0	70.5	69.8 72.7	60.7	55.8 62.0	89.3 82.1	
	科学的な 思考・表現					61.3	71.5 64.0	63.6	67.0 66.0	64.0	66.0 68.6	63.3 54.1	
	観察・実験の技能					80.5	87.8 85.9	70.5	79.1 75.5	68.7	62.8 72.5	77.3 71.1	
	自然現象について の知識・理解					70.7	79.3 73.4	71.3	72.1 73.9	68.7	65.9 70.9	83.3 81.5	

※全国学力・
学習状況調査
の結果につい
ては、9月末
頃までに公表
する予定です。

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
- 2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0、5として換算している。

全国学力・学習状況調査の理科については、A（知識）とB（活用）を一体的に問う調査を実施した。

● 自校における調査結果の分析

◇よい点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年に引き続き、社会科が全学年全項目で全国平均正答率を上回っています。 ・ 国語科の特に「読むこと」では、全学年が5ポイント以上、全国平均正答率を上回っています。 ・ 第4学年が、全教科に亘って、大変良好です。
◆課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理科は、5年生で2項目、6年生では4項目すべてが、全国平均を下回りました。早急に授業改善を行い、理科好きの児童を育てることが課題です。 ・ 算数は、2年生と4年生以外の学年で、全国平均正答率を下回る項目があります。昨年に引き続き、放課後や長期休業中の補習を強化するとともに、学校全体で授業改善を行います。 ・ 第3学年の下位層の割合が高いため、授業改善とともに、補習や個別指導の充実を図ります。
<改善の方向性>	<ul style="list-style-type: none"> ①校内研究主題の実現を目指した授業改善 ②両国スタンダードの定着（授業・家庭） ③放課後補習教室を2年（木曜）と3年（金曜）で実施 ④夏休み「算数道場」の実施（全学年）

※ 今後、調査結果の詳細な分析を行い、「学力向上を図るための全体計画」（学校としての学力向上プラン）を9月末までに公表する予定です。